呉工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	LHR Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0001	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 0
開設学科	機械工学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	前期:1 後期:1
教科書/教材			
担当教員	田中 慎一		

到達目標

１．ホームルーム活動を通して，望ましい人間関係を形成し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を育てる。
２．学校行事を通して，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育てる。
３．SAPARなどの活動を通して，自身のキャリアデザインを明確化できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	ホームルーム活動を通して，率先して望ましい人間関係を形成し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を十分に発揮できる。	ホームルーム活動を通して，望ましい人間関係を形成し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を持っている	ホームルーム活動を通して，望ましい人間関係を形成できない，あるいは，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度がない。
評価項目2	学校行事を通して，率先して集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的，実践的な態度を十分に発揮できる。	学校行事を通して，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的，実践的な態度を持っている。	学校行事を通して，集団への所属感や連帯感を深めることができない，あるいは，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的，実践的な態度がない。
評価項目3	SAPARなどの活動を通して，自身のキャリアデザインを明確化し，目標に向かって実践できる。	SAPARなどの活動を通して，自身のキャリアデザインを明確化できる。	SAPARなどの活動を通して，自身のキャリアデザインを明確化できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	ホームルーム活動や学校行事，呉高専キャリア教育プランSAPARの活動等を通じて，望ましい人間関係の構築，集団への所属意識や連帯感を深め，公共の精神を養い，諸問題を解決し協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を育てるとともに，自らのキャリア形成について考える。
授業の進め方・方法	年間の計画はこのシラバスに記載のとおりですが，詳細は半期ごとに計画し教室内に掲示します。
注意点	

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	新入生オリエンテーション	
		2週	1年合同HR（身だしなみ指導・交通安全教室）	
		3週	遠足	
		4週	1年合同HR（防災教育）	
		5週	心と体の健康調査・生活習慣調査	
		6週	1年合同HR（携帯電話安全教室）	
		7週	中間試験について	
		8週	1年合同HR（カウンセラー講話）	
	2ndQ	9週	学級活動	
		10週	他学科合同のレクレーション	
		11週	学級活動	
		12週	学級活動	
		13週	学級活動	
		14週	期末試験について	
		15週	夏休みの生活について	
		16週		
後期	3rdQ	1週	校長訓話・後期開始にあたって	
		2週	球技大会について	
		3週	高専祭について	
		4週	合同津波避難訓練	
		5週	高専祭準備	
		6週	高専祭準備	
		7週	中間試験について	
		8週	防火訓練	
	4thQ	9週	学級活動	
		10週	学級活動	
		11週	先輩の話（SAPAR）	

		12週	学級活動	
		13週	国際交流イベント報告会	
		14週	学年末試験について	
		15週	1年を振り返って	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	20	0	20
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	80	0	80